

明治大学文学部が主催する【第8回読書感想文コンクール】において、本校文理科2年4組の竹之下りのさん（都城市立沖水中出身）、日高千嘉子さん（久峰中出身）が、見事優秀賞に選ばれました。

このコンクールは、読書することの喜びと感動を言葉にしてもらおうという目的で、高校生ならびに社会人を対象に実施されています。

文学、歴史、心理、社会など幅広い範囲に及ぶ書物の中から、毎年選りすぐりの10冊が課題図書として与えられます。二人が選んだ書物は下重暁子著の「家族という病」です。ぜひ、皆さんも読んでみてはいかがでしょうか！



受賞作品が一冊の本になり、受賞者に手渡されます

課題図書 10 選（50 音順）

- | | |
|-----------------------|-------------------------|
| 『大人になることのむずかしさ』河合隼雄 著 | 『セールスマンの死』アーサー・ミラー 著 |
| 『家族という病』下重暁子 著 | 『となり町戦争』三崎亜紀 著 |
| 『荒野のおおかみ』ヘルマン・ヘッセ 著 | 『博士の愛した数式』小川洋子 著 |
| 『コルチャック先生』近藤二郎 著 | 『八十日間世界一周』ジュール・ヴェルヌ 作 |
| 『失敗学のすすめ』畑村洋太郎 著 | 『武器よさらば』アーネスト・ヘミングウェイ 著 |